

上伊那音楽教育研究会

ハーモニー

第2号

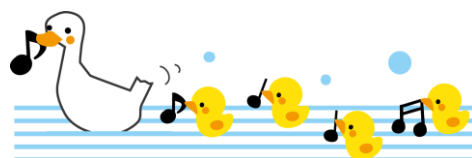


平成30年8月29日

今年は7月から35℃を超える日が連日続くような例年になく暑い暑い夏でしたが、少しずつ朝晩の暑さがやわらぎ、季節の移り変わりを感じるこの頃です。2学期も始まって、小学校は運動会に音楽会に、また、中学校や養護学校では文化祭にと準備も始まり、先生方もお忙しい日々をお過ごしのことと思います。体調に気をつけて、2学期もがんばりましょう。

さて、この夏も音楽の練習、大会、または自己を高める研修と、子ども達も先生方も充実した日々だったのではないのでしょうか。その中から講習会・研修会の様子をお知らせいたします。

♪自由曲講習会(7月14日・15日)♪



8月の長野県学校合唱大会に向け、7月14日・15日に駒ヶ根市民会館にて「自由曲講習会」が行われました。今年も、合唱指揮者の藤原規生先生をお迎えし、1校ずつ丁寧にご指導いただきました。



藤原先生に教えていただく自由曲講習会に参加するようになって、今年で6年目になりました。生徒の様子に沿った指導をしていただき、生徒も毎年楽しみにしている講習会です。30分と短い講習時間ですが、その中で発声方法や表現の仕方、曲の感じ方など、たくさんのことをわかりやすく、楽しく教えていただきました。生徒への指導を通して、私自身もたくさんを学ばせていただきました。これからの演奏に生かしていきたいと思えます。

長谷中学校 中谷梨恵先生

♪ 夏季講習会 ♪

8月6日、筑波大学附属小学校教諭・高倉弘光先生をお迎えし、「子どもが生き生き活動する音楽授業～楽しく、確かな学びがある『鑑賞』と『音楽づくり』はこうする!」と題して、東春近小学校で夏季講習会が行われました。

午前中には鑑賞「中国のおどり」「春の海」を中心に、具体的な鑑賞の授業方法や授業の組み立て方を教えていただき、午後には常時活動でできることをいくつかご紹介いただいたり、S.ライヒ作曲「クラッピング・ミュージック」の鑑賞からつなげて実際に音楽づくりを試みたりしました。

鑑賞では、感想を書くだけでなく、やはり学びのある鑑賞の授業を行わなければならないと強く思うと同時に、高倉先生も「『仕込み』が大事」とおっしゃっていましたが、楽しみながら学べる方法を考えることの大切さを感じました。高倉先生の授業を体験させていただき、鑑賞でも常時活動でも音楽づくりでも、自然と笑顔になって、心が開放的になっていくことを感じました。



《心に残った言葉》

- ◆鑑賞前の『仕込み』で、何らかの知識を与えておく。
 - ・知識や技能を生かしながら思考させる。
 - ・「なんでもいいから聴きましょう」では、授業の入り口にならない。
- ◆「発問」の大切さ
 - ・子ども達が自然にやったこと（無意識）を「どうして?」と聞き、意識化する。
 - ・思考力・判断力を育てるために発問が大事。
- ◆鑑賞は、「何回聴かされるか」が勝負。
 - ・手を変え、品を変えて。
 - ・子どもが「もう1回聴かせて」と言うような発問を。
- ◆「身体反応」「身体運動」「身体表現」で、音に対して敏感な体を養う。
 - ・手を動かすだけよりも、立ったり座ったりと、大きな筋肉を使った方が良い。
 - ・学年の目標にある「協働」・・・友と一緒にやる。これはコミュニケーション。
- ◆理論ではわからない何かがある。それが「美意識」。
 - ・理論通りにやっても、面白いとは限らない。
 - ・何か面白いことをやっている子を見つけ出す。

《全体を通しての感想》

高倉先生の徹底した教材研究には、頭が下がる思いでした。「授業前にとことん聴く」「常に新しい教材を開拓する」といった基本的な研究姿勢。そして、「あれはうまくいった」「あれは失敗した」といった積み重ねの豊富さ。その全ては、子ども達が喜んで活動する姿を見たいという、情熱によるものなのでしょう。大変学ぶところの多い講習会でした。



常時活動：笑顔いっぱいのコミュニケーション



身体表現を体感！



♪連絡♪

○第1回音研総会で話題がでました『会誌 Harmony』について、アンケートを配布させていただきました。まだ受け付けておりますので、ご協力をお願いいたします。
×切は8月31日です。長谷小 小林（FAX：0265-98-3032）までお願いします。

校内音楽会プログラムもよろしくお祈いします！

第1次×切は8月31日です。A4サイズ 75部印刷し、提出をお願いします。

（最終×切は2月16日の総会時になります）

提出先：プログラム集…山崎由紀先生（箕輪南小）



お忙しい中、原稿をお寄せいただいた先生方、本当にありがとうございました。

（第2号文責 長谷小学校 小林佳美）